

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場会社名 タイガースポリマー株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4231 URL <http://tigers.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 健太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 井上 宏章

TEL 06-6871-8060

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	17,810	△30.7	76	△90.6	112	△86.9	△83	—
21年3月期第3四半期	25,694	—	814	—	858	—	195	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△4.15	—
21年3月期第3四半期	9.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	24,807	18,414	71.8	889.61
21年3月期	25,397	18,409	70.3	892.43

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,805百万円 21年3月期 17,862百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	2.00	8.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	△19.4	400	△22.8	400	△32.8	100	—	5.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 20,111,598株 21年3月期 20,111,598株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 96,138株 21年3月期 95,639株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 20,015,673株 21年3月期第3四半期 20,016,503株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、雇用環境の悪化による消費の低迷や企業の設備投資の抑制等の影響を受けることとなり、売上高178億10百万円（前年同期比78億83百万円 30.7%減少）、営業利益76百万円（前年同期比7億37百万円 90.6%減少）、経常利益1億12百万円（前年同期比7億45百万円 86.9%減少）、四半期純損失83百万円（前年同期は四半期純利益1億95百万円）と減収減益になりました。

## 部門別の状況

ホース部門は、国内ではエアコン・クリーナー等の家電用ホースが低迷したことに加え、住宅・建材用等の産業用ホースが減少しました。海外では、米国で生産する産業用ホースが景気低迷及び円高による為替の影響により減少したほか、アジアにおいても、家電用ホースが需要の減少の影響を受けました。この結果、ホース部門全体の売上高は、50億75百万円（前年同期比14億88百万円 22.7%減少）となりました。

ゴムシート部門は、マット類が需要の低迷により減少したことに加え、シート類も景気悪化により汎用品を中心に全般にわたり減少しました。この結果、ゴムシート部門全体の売上高は、30億48百万円（前年同期比9億38百万円 23.5%減少）となりました。

成形品部門は、主力の自動車部品が中国では増加しましたが、国内及び米国、タイでは需要の低迷及び円高による為替の影響を受け減少しました。この結果、成形品部門全体の売上高は、90億95百万円（前年同期比50億79百万円 35.8%減少）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、142億5百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加3億88百万円、棚卸資産の減少3億56百万円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.7%減少し、106億2百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減少7億20百万円等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、248億7百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.5%減少し、49億72百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少4億87百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億50百万円、賞与引当金の減少1億12百万円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて28.6%増加し、14億21百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加1億50百万円、退職給付引当金の増加2億16百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.02%増加し、184億14百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加61百万円、少数株主持分の増加61百万円、利益剰余金の減少1億23百万円等によるものであります。この結果、1株当たり純資産は889円61銭、自己資本比率は71.8%となりました。

## (キャッシュ・フローについて)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ4億25百万円減少(前期比8.7%減少)し、44億84百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、10億11百万円（前年同期比17.2%減少）となりました。収入の主な内訳は、減価償却費12億74百万円、たな卸資産の減少額4億16百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額3億88百万円、仕入債務の減少額4億86百万円等であります。

投資活動の結果支出した資金は、13億61百万円（前年同期比4.3%減少）となりました。支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出6億9百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出7億43百万円等であります。

財務活動の結果支出した資金は、41百万円（前年同期比83.0%減少）となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入1億50百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出1億50百万円、配当金の支払額39百万円等であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年10月30日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,801	5,621
受取手形及び売掛金	5,943	5,554
商品及び製品	1,213	1,311
仕掛品	184	210
原材料及び貯蔵品	716	948
繰延税金資産	95	111
その他	259	420
貸倒引当金	△7	△22
流動資産合計	14,205	14,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,924	7,924
減価償却累計額	△4,695	△4,515
建物及び構築物(純額)	3,228	3,409
機械装置及び運搬具	17,441	17,326
減価償却累計額	△14,771	△14,171
機械装置及び運搬具(純額)	2,670	3,154
工具、器具及び備品	5,893	5,767
減価償却累計額	△5,343	△5,163
工具、器具及び備品(純額)	550	604
土地	1,603	1,597
建設仮勘定	672	678
有形固定資産合計	8,724	9,444
無形固定資産		
	225	252
投資その他の資産		
投資有価証券	1,189	1,103
繰延税金資産	224	199
その他	248	251
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	1,652	1,545
固定資産合計	10,602	11,241
資産合計	24,807	25,397

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,200	2,688
短期借入金	1,650	1,650
1年内返済予定の長期借入金	—	150
未払金	919	881
未払法人税等	55	54
賞与引当金	73	185
役員賞与引当金	1	1
その他	72	270
流動負債合計	4,972	5,882
固定負債		
長期借入金	150	—
退職給付引当金	969	752
役員退職慰労引当金	—	244
繰延税金負債	15	14
その他	286	93
固定負債合計	1,421	1,104
負債合計	6,393	6,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149	4,149
資本剰余金	3,900	3,900
利益剰余金	11,000	11,123
自己株式	△51	△51
株主資本合計	18,999	19,122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	152	91
為替換算調整勘定	△1,346	△1,351
評価・換算差額等合計	△1,193	△1,260
少数株主持分	608	547
純資産合計	18,414	18,409
負債純資産合計	24,807	25,397

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	25,694	17,810
売上原価	21,196	14,757
売上総利益	4,498	3,053
販売費及び一般管理費	3,684	2,977
営業利益	814	76
営業外収益		
受取利息	29	18
受取配当金	30	21
不動産賃貸料	19	13
その他	41	55
営業外収益合計	121	108
営業外費用		
支払利息	15	18
不動産賃貸原価	3	3
為替差損	47	43
その他	9	6
営業外費用合計	77	71
経常利益	858	112
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	4	2
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産売却損	8	0
固定資産除却損	23	12
減損損失	11	—
投資有価証券評価損	38	25
ゴルフ会員権評価損	—	0
たな卸資産評価損	90	—
特別損失合計	172	38
税金等調整前四半期純利益	690	76
法人税、住民税及び事業税	226	146
法人税等調整額	181	△49
法人税等合計	408	97
少数株主利益	86	61
四半期純利益又は四半期純損失(△)	195	△83

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	690	76
減価償却費	1,594	1,274
減損損失	11	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△14
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	0
受取利息及び受取配当金	△60	△39
支払利息	15	18
為替差損益(△は益)	21	35
投資有価証券評価損益(△は益)	38	25
固定資産売却損益(△は益)	8	0
固定資産除却損	23	12
売上債権の増減額(△は増加)	180	△388
たな卸資産の増減額(△は増加)	△248	416
仕入債務の増減額(△は減少)	△252	△486
その他	△495	4
小計	1,505	934
利息及び配当金の受取額	60	37
利息の支払額	△15	△4
法人税等の支払額	△330	42
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,220	1,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△468	△609
定期預金の払戻による収入	300	1
有価証券の取得による支出	△81	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,126	△743
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△7	△6
その他	△41	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,423	△1,361
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,450	74
短期借入金の返済による支出	△1,150	△74
長期借入れによる収入	—	150
長期借入金の返済による支出	△300	△150
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△240	△39
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242	△41
現金及び現金同等物に係る換算差額	△221	△34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△666	△425
現金及び現金同等物の期首残高	4,425	4,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,759	4,484



(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の各種部品及び部品素材の製造を業とする単一事業ですので、開示の対象となるセグメントはありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）（単位：百万円）

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	15,451	6,983	3,259	25,694	—	25,694
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	649	4	580	1,234	(1,234)	—
計	16,100	6,987	3,840	26,928	(1,234)	25,694
営業利益又は営業損失(△)	△5	34	445	474	339	814

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）（単位：百万円）

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	11,457	3,987	2,365	17,810	—	17,810
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	420	0	371	792	(792)	—
計	11,877	3,988	2,737	18,603	(792)	17,810
営業利益又は営業損失(△)	△263	△57	144	△177	253	76

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域 アジア …… タイ、マレーシア、中国

3 会計処理の方法の変更

(前第3四半期連結累計期間)

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で14百万円増加しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年12月31日) (単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	6,972	3,301	10,274
II 連結売上高			25,694
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.1	12.9	40.0

当第3四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年12月31日) (単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	3,896	2,484	6,381
II 連結売上高			17,810
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	21.9	13.9	35.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北 米 …… 米国、カナダ

ア ジ ア …… タイ、マレーシア、中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)

該当事項はありません。